

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東洋美術学校
設置者名	学校法人 中込学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
造形専門課程	クリエイティブデザイン科 高度コミュニケーション デザイン専攻（4年制）	夜・通信	2,916 時間	80×4＝ 320 時間	
	クリエイティブデザイン科 高度グラフィックアート専攻 （4年制）	夜・通信	4,108 時間	80×4＝ 320 時間	
	クリエイティブデザイン科 高度プロダクトデザイン専攻 （4年制）	夜・通信	3,198 時間	80×4＝ 320 時間	
	保存修復科（4年制）	夜・通信	2,076 時間	80×4＝ 320 時間	
	インダストリアルデザイン科 インダストリアルデザイナー コース（2年制）	夜・通信	1,664 時間	80×2＝ 160 時間	
	インダストリアルデザイン科 クラフト・ファニチャーコース （2年制）	夜・通信	1,664 時間	80×2＝ 160 時間	
	グラフィックデザイン科 Web デザイナーコース（2年制）	夜・通信	1,136 時間	80×2＝ 160 時間	
	グラフィックデザイン科 グラフィックデザイナー コース（2年制）	夜・通信	1,076 時間	80×2＝ 160 時間	
	イラストレーション科 コミックイラストコース （2年制）	夜・通信	1,165 時間	80×2＝ 160 時間	
	イラストレーション科 イラストレーターコース （2年制）	夜・通信	992 時間	80×2＝ 160 時間	
	マンガ科（2年制）	夜・通信	2,156 時間	80×2＝ 160 時間	
	絵画科（2年制）	夜・通信	2,992 時間	80×2＝ 160 時間	
	中国水墨画科（2年制）	夜・通信	1,818 時間	80×2＝ 160 時間	
	グラフィックデザイン科 （1年制）	夜・通信	464 時間	45×1＝ 45 時間	

	イラストレーション科 (1 年制)	夜・ 通信	480 時間	45×1＝ 45 時間	
	絵画科 (1 年制)	夜・ 通信	802 時間	45×1＝ 45 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

Web にて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の实務経験に関するチェック欄あり。学科・専攻・コース毎に違うファイルのため、下記 URL は情報公開の巻頭ページを記載。（掲載：<https://www.to-bi.ac.jp/disclose-information/#toc6>）

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東洋美術学校
設置者名	学校法人 中込学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

Webにて理事名簿を公開している。 (掲載： https://www.to-bi.ac.jp/pdf/theboard.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士法人 代表	令和3年 1月15日～ 令和6年 1月14日	財務・税務全般 の専門的知見
非常勤	元企業営業事務	令和3年 1月15日～ 令和6年 1月14日	広報戦略の アドバイス
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東洋美術学校
設置者名	学校法人 中込学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・クリエイティブデザイン科(昼間部)4年制 ・保存修復科(昼間部)4年制 ・インダストリアルデザイン科(昼間部)2年制 ・グラフィックデザイン科(昼間部)2年制 ・イラストレーション科(昼間部)2年制 ・マンガ科(昼間部)2年制 ・絵画科(昼間部)2年制 ・中国水墨画科(昼間部)2年制 ・夜間部グラフィックデザイン科(夜間部)1年制 ・夜間部イラストレーション科(夜間部)1年制 ・夜間部絵画科(夜間部)1年制 東洋美術学校 造形専門課程カリキュラム編成委員会 規程より抜粋 (授業計画の作成) 第9条 毎年度の本会議での授業科目の検討・検証に基づき、各科授業を担当する教員により演習、実技、講義内容について作成を行う(授業計画含む)また各学科において内規を定め「担当教員」「授業の到達目標及びテーマ」「講義内容」「授業計画(各回の授業プラン)」「成績評価基準に関する事項」を全科目で記載することを必須として、授業計画作成を行う。 (授業計画の作成時期) 第10条 翌年度の授業計画は、11月末日までに各学科の専任講師が作成し、各学科長並びに校長の承認後、3月の理事会時で正式決定し、3月下旬までに授業計画をweb公開する。	
授業計画書の公表方法	https://www.to-bi.ac.jp/disclose-information/#toc6 (学科・専攻・コース毎の授業科目の一覧の後に授業計画書を添付)

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

就学規程に基づき、成績評価、修得、卒業要件について規定している。各学科で定める授業科目、演習、実技、講義（レポート含む）により成績評価を行っている。

東洋美術学校 造形専門課程カリキュラム編成委員会 規程より抜粋

(成績評価)

第 11 条 演習、実技科目の成績評価は学習内容、作品内容の他に制作、学習態度等を考慮して評価される。講義科目の成績評価は講義試験の評価、レポートの評価、出席状況、学習態度等を総合して評価される。評価基準は下記の通りである。

100～90 点 = A（＋、－） 89～80 点 = B（＋、－）

79～70 点 = C（＋、－） 69～60 点 = D（＋、－）

59 点以下 = 不合格（再試験）

なお、科目によっては合否判定で行う場合もある。成績表、成績証明書には『A・B・C・D・合』で表記する。

(進級)

第 13 条 学年に定められた授業科目等を全て修得した者には進級判定会議を経て校長が進級を認定する。

(卒業)

第 14 条 学費等を完納し所定の授業科目等を全て修得した者には、卒業判定会議を経て校長は卒業を認定し、卒業証書および高度専門士(4 年制)・専門士(2 年制)の称号を授与する。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 東洋美術学校 造形専門課程カリキュラム編成委員会 規程より抜粋 第 12 条 学内の成績評価として GPA を導入し、特待生評価や就職の推薦候補の選出等に使用する。(GPA とは生徒の履修した 1 授業科目あたりの平均成績を指す。) 学業成績は、授業科目ごとに行う (定期試験、演習の授業、実技) により評価。各授業の評価について、100 点満点を基準として 60 点以上を合格とする。合格者の中でも評価点数により、100～90 を A、89～80 を B、79～70 を C、69～60 を D として成績を定める。成績評価を A(5 点)、B(4 点)、C(3 点)、D(2 点)、に換算し、A の授業数×5+B の授業数×4+C の授業数×3+D の授業数×2 の合計を履修科目総数で除して GPA を算出する。 また、成績評価方法についてはホームページで公開する他、入学時のオリエンテーションで生徒に通知している。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.to-bi.ac.jp/pdf/regulation_curriculum.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 東洋美術学校は、「クリエイティブな仕事を志す人を育成する」そして「実社会で活躍できるプロフェッショナルを育成する」という一貫したテーマのもと、美術教育に取り組んでいる。 卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次に全て合格することを定めている。詳細は就学規程等に記載し、ホームページでは「東洋美術学校 造形専門課程カリキュラム編成委員会 規程」を Web 公開している。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.to-bi.ac.jp/pdf/regulation_curriculum.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東洋美術学校
設置者名	学校法人 中込学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月中旬に最新情報を公開している。 https://www.to-bi.ac.jp/pdf/finance_2020-1.pdf
収支計算書又は損益計算書	毎年6月中旬に最新情報を公開している。 https://www.to-bi.ac.jp/pdf/finance_2020-2.pdf
財産目録	毎年6月中旬に最新情報を公開している。 https://www.to-bi.ac.jp/pdf/finance_2020-5.pdf
事業報告書	毎年6月中旬に最新情報を公開している。 https://www.to-bi.ac.jp/pdf/finance_2020-4.pdf
監事による監査報告（書）	毎年6月中旬に最新情報を公開している。 https://www.to-bi.ac.jp/pdf/finance_2020-6.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	クリエイティブデザイン科 高度コミュニケーション デザイン専攻（4年制）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
			224 単位時間 /単位	1,788 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,048 単位時間 /単位
4年	昼	4,060 単位時間/単位		単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		124人	4人	4人	39人	40人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要)
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 授業内容、課題の概要、到達目標の公開を各授業で行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、インターンシップの紹介をし、意欲ある学生への積極的な支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	1人 (4.1%)	9人 (37.5%)	14人 (58.3%)
(主な就職、業界等) グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、印刷オペレーター、2Dデザイン制作、イベント運営			
(就職指導内容) 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 色彩検定講座			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
116人	5人	4.3%
(中途退学の主な理由) 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI相談室では、週2回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	クリエイティブデザイン科 高度グラフィックアート専攻 (4年制)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4, 102 単位時間／単位	54 単位時間／単位	2, 140 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	1, 908 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		160人	7人	4人	36人	40人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内容、課題の概要、到達目標の公開を各授業で行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、インターンシップの紹介をし、意欲ある学生への積極的な支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 （100%）	0人 （0%）	6人 （26%）	17人 （73.9%）
（主な就職、業界等） コンシューマゲーム制作、スマートフォンアプリ・ゲーム制作、2D・3DCG制作、映像制作			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定講座			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
162人	11人	6.8%
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		造形専門課程	クリエイティブデザイン科 高度プロダクトデザイン専攻 (4年制)			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,016 単位時間／単位	484 単位時間／単位	2,688 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	844 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		31人	5人	4人	28人	32人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 初回授業では、シラバスをもとに授業内容の説明を行います。学生のデータやモデルをチェックしながら、個人の能力や習熟状況を確認し、指導しています。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導を行い、意欲ある学生の積極的な学修の支援をしています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 （ 1 0 0 %）	0 人 （ 0 %）	3 人 （ 7 5 %）	1 人 （ 2 5 %）
（主な就職、業界等） 自動車メーカー、工業デザイン、CAD 設計、商品企画制作会社、園芸用品企画営業			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、 企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定講座			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 9 人	2 人	6 . 9 %
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		造形専門課程	保存修復科（4年制）			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			496 単位時間 /単位	1,012 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	2,352 単位時間 /単位
4年	昼	3,860 単位時間 /単位	単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		57人	7人	3人	35人	38人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
各授業の初回到授業の概要と到達目標、最終課題と評価方法についての説明を行います。その後は各自の修得状況を確認しながら個別指導等を行いつつ、テストや実習を通じて技術と知識の定着を図ります。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 （100%）	0人 （0%）	7人 （58.3%）	5人 （41.6%）
（主な就職、業界等） 文化財保存修復、キズの補修職人、塗装職人、美術塗装、市役所、コンタクトレンズ販売			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			

(主な学修成果（資格・検定等）)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
51人	2人	3.9%
(中途退学の主な理由) 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	インダストリアルデザイン科 インダストリアルデザイナー コース（2年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 182 単位時間／単位	258 単位時間／単位	1, 252 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	672 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		11人	2人	2人	27人	29人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）初回授業では、シラバスをもとに授業内容の説明を行います。学生のデータやモデルをチェックしながら、個人の能力や習熟状況を確認し、指導しています。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導を行い、意欲ある学生の積極的な学修の支援をしています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 （100%）	0人 （0%）	4人 （50%）	4人 （50%）
（主な就職、業界等） カーモデラー、生活雑貨デザイン、インテリア用品デザイン、SP デザイン、 鋳物加工			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、 企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	1人	6.3%
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	インダストリアルデザイン科 クラフト・ファニチャーコース (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 182 単位時間／単位	258 単位時間／単位	1, 252 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	672 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		11人	0人	2人	27人	29人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 初回授業では、シラバスをもとに授業内容の説明を行います。学生のデータやモデルをチェックしながら、個人の能力や習熟状況を確認し、指導しています。 また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導を行い、意欲ある学生の積極的な学修の支援をしています。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 （100%）	0人 （0%）	1人 （33.3%）	2人 （66.6%）
（主な就職、業界等） 立体造形制作、玩具デザイン、カバン製造、工芸品製作職人			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	1人	10%
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	グラフィックデザイン科 Web デザイナーコース (2 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 946 単位時間/単位	86 単位時間/単位	1,860 単位時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180 人		20 人	5 人	3 人	29 人	32 人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 初回授業にて全体の授業内容や課題概要の説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導などを行い、授業についていけない学生へのフォローと意欲ある学生にはさらに積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6 人 （ 1 0 0 % ）	1 人 （ 1 6 . 6 % ）	2 人 （ 3 3 . 3 % ）	3 人 （ 5 0 % ）
（主な就職、業界等） Web デザイン、グラフィックデザイン			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定講座			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 2 人	0 人	0 %
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	グラフィックデザイン科 グラフィックデザイナー コース（2年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,934 単位時間／単位	86 単位時間 ／単位	1,848 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		92人	6人	3人	29人	32人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 初回授業にて全体の授業内容や課題概要の説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導などを行い、授業についていけない学生へのフォローと意欲ある学生にはさらに積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35人 （100%）	2人 （5.7%）	16人 （45.7%）	17人 （48.5%）
（主な就職、業界等） グラフィックデザイン、エディトリアルデザイン、パッケージデザイン、 印刷オペレーター、デザイン企画営業、UI デザイン			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、 企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定講座			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
81人	8人	9.9%
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	イラストレーション科 コミックイラストコース (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 8 4 1 単位時間／単位	64 単位時間／単位	1, 777 単位時間／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1 8 0 人		2 1 3 人	1 0 人	4 人	2 2 人	2 6 人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
授業内容や課題概要などは、各授業内にて説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
98人 （100%）	0人 （0%）	28人 （28.5%）	70人 （71.4%）
（主な就職、業界等） コンシューマゲーム制作、スマートフォンアプリ・ゲーム制作、2D・3DCG制作、 アニメーター、UIデザイナー、製造技術職、医療事務			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、 企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定講座			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
202人	3人	1.5%
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI相談室では、週2回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	イラストレーション科 イラストレーターコース (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1, 7 2 4 単位時間 / 単位	32 単位時間 / 単位	1, 692 単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位	単位時間 / 単位
			単位時間 / 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1 8 0 人		1 1 7 人	9 人	4 人	1 8 人	2 2 人	

※上記総定員は学科全体の人数となります。

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 授業内容や課題概要などは、各授業内にて説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
63人 （100%）	0人 （0%）	8人 （12.6%）	55人 （87.3%）
（主な就職、業界等） イラスト制作、印刷制作オペレーター、スマートフォンアプリ・ゲーム制作、 2D・3DCG制作、アニメーター、雑貨販売、介護事務			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、 企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 色彩検定講座			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	5人	4.1%
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI相談室では、週2回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		造形専門課程	マンガ科（2 年制）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 3 4 8 単位時間／単位	6 単位時間 ／単位	2, 432 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
6 0 人		4 4 人	2 人	3 人	1 9 人	2 2 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
課題の初回授業では説明用プリントを配布し、必要であれば本課題の前に練習課題を行い、確実に知識と技術を習得できるようにする。また漫画賞への投稿作品制作では、学生の作風を熟知した担当講師が一貫してプロットから原稿完成まで個別指導する。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 （100％）	0人 （0％）	4人 （16.6％）	20人 （83.3％）
（主な就職、業界等） シナリオ制作、漫画家アシスタント、テレビアシスタントディレクター			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
48人	8人	16.7%
(中途退学の主な理由) 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		造形専門課程	絵画科（2年制）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			208 単位時間 /単位	456 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	2, 220 単位時間 /単位
2 年	昼	2, 8 8 4 単位時間/単位	単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
6 0 人		1 5 人	0 人	2 人	2 3 人	2 5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
授業内容や課題概要などは、授業内にて説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や作品面談、今後の作家活動支援などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 （100%）	0人 （0%）	1人 （11.1%）	8人 （88.8%）
（主な就職、業界等） 不動産賃貸、ゲーム会社、印刷会社、製造職			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18人	2人	11.1%
(中途退学の主な理由) 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		造形専門課程	中国水墨画科（2 年制）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 9 8 2 単位時間／単位	312 単位時間／単位	172 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	1, 498 単位時間／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 0 人		4 人	1 人	1 人	1 0 人	1 1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
授業内容、課題概要などは、授業内に説明をし、学生一人ひとりに合わせた指導を行っている。また随時、担任教員による学業相談、進路相談を行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 （100%）	0人 （0%）	0人 （0%）	1人 （100%）
（主な就職、業界等） 画家、一般職			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0 %
(中途退学の主な理由) 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		造形専門課程	グラフィックデザイン科(1年制)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	夜	8 6 4 単位時間 ／単位	32 単位時間 ／単位	832 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 0 人		2 3 人	0 人	1 人	6 人	7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
初回授業にて全体の授業内容や課題概要の説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導などを行い、授業についていけない学生へのフォローと意欲ある学生にはさらに積極的な学修を支援している。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 （100%）	0人 （0%）	2人 （12.5%）	14人 （87.5%）
（主な就職、業界等） グラフィックデザイン、印刷会社			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	3人	15%
(中途退学の主な理由) 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		造形専門課程	イラストレーション科 (1年制)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
		817 単位時間／単位	単位時間 ／単位	817 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
1年	夜		単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		22人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
授業内容や課題概要などは、各授業内にて説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 （100%）	0人 （0%）	8人 （33.3%）	16人 （66.6%）
（主な就職、業界等） ゲームアプリ制作、保育士、キャラクター企画総合職、印刷会社			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、 企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27人	3人	11.1%
（中途退学の主な理由） 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 定期的に行う担任・副担任による個人面談、TO-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※TO-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		造形専門課程	絵画科（1年制）					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
				159				643
			単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
1年	夜	802 単位時間/単位	単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人		12人	0人	1人	4人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）	
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要）	
授業内容や課題概要などは、授業内にて説明を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や作品面談、進路指導などを行い、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 （100%）	0人 （0%）	2人 （28.5%）	5人 （71.4%）
（主な就職、業界等） グラフィックデザイン、CGイラスト制作、Webデザイン、経理、事務職			
（就職指導内容） 面接模試、SPI・作文・履歴書添削、業界・職種研究、個人面談、進路相談、企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	4人	36.4%
(中途退学の主な理由) 保護者の経済面における問題、健康面・精神面における障害や進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に行う担任・副担任による個人面談、T0-BI 相談室利用の促進、保護者を含めた三者面談等。 ※T0-BI 相談室では、週二回 臨床心理士による予約制の無料相談を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
クリエイティブデザイン科 昼間部 (4 年制)	190,000 円	840,000 円	135,000 円	
保存修復科 昼間部 (4 年制)	190,000 円	864,000 円	135,000 円	
インダストリアルデザイン科 昼間部 (2 年制)	170,000 円	860,000 円	130,000 円	
グラフィックデザイン科 昼間部 (2 年制)	170,000 円	840,000 円	130,000 円	
イラストレーション科 昼間部 (2 年制)	170,000 円	840,000 円	130,000 円	
マンガ科 昼間部 (2 年制)	170,000 円	840,000 円	130,000 円	
絵画科 昼間部 (2 年制)	170,000 円	864,000 円	130,000 円	
中国水墨画科 昼間部 (2 年制)	120,000 円	864,000 円	90,000 円	
グラフィックデザイン科 夜間部 (1 年制)	50,000 円	310,000 円	50,000 円	
イラストレーション科 夜間部 (1 年制)	50,000 円	310,000 円	50,000 円	
絵画科 夜間部 (1 年制)	50,000 円	310,000 円	50,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校の Web にて公開している。 https://www.to-bi.ac.jp/pdf/2020_self_evaluation.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)

視野の広いアーティスト・デザイナーの育成を目的とし、心・技・感性のバランスのとれた人材を育成すると同時に、アナログとデジタル双方をバランスよくとらえることが出来、情報化社会において、クリエイティブの在り方について考え、社会に求められる職業教育を行い、インターンシップとカリキュラムの関係をより効果的にするプログラム作成を重点的な目標とし、学外の意見を取り入れた計画を、単年度だけでなく、中長期にわたり計画策定する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高等学校 学校長	平成3年4月1日～ 令和4年3月31日	高等学校 校長
デザイン会社 代表取締役	平成3年4月1日～ 令和4年3月31日	専門分野企業等委員
税理士法人 職員	平成3年4月1日～ 令和4年3月31日	財務等専門家
ファイナンシャルプランナー	平成3年4月1日～ 令和4年3月31日	財務等専門家
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校の Web にて公開している。 https://www.to-bi.ac.jp/pdf/2020_self_evaluation.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.to-bi.ac.jp/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	東洋美術学校
設置者名	学校法人 中込学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		102 人	99 人	108 人
内 訳	第Ⅰ区分	67 人	68 人	
	第Ⅱ区分	24 人	22 人	
	第Ⅲ区分	11 人	一人	
家計急変による支援対象者（年間）				11 人
合計（年間）				119 人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽り或其他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0 人
----	-----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0 人	0 人	0 人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 （単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下）	0 人	0 人	0 人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0 人	0 人	0 人
「警告」の区分に 連続して該当	0 人	0 人	0 人
計	0 人	0 人	人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	0 人	前半期	0 人	後半期	0 人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0 人
年間計	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期 後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 （単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下）	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	一人	13人	一人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	一人	一人
計	一人	15人	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。